

JA自己改革推進レポート（JA鳥取西部）6月号

（1）「米フェスタ 2019 親子で田植え体験」

JA鳥取西部などで構成される米フェスタ実行委員会は伯耆町丸山で5月26日、「米フェスタ 2019 おいしい米づくりにトライ！」を開いた。

米フェスタには親子連れやJA鳥取西部のこどもあぐりスクール生、関係者ら約300人が参加。田植えや魚のつかみ取り、米俵のふた「さんだわら」を投げるゲームなど自然の中での活動を通じ、農や食の大切さを学んだ。

参加者らは裸足で田んぼに入り、丸山集落営農組合員の指導の下、約20アールの「ふれあい交流田」にコシヒカリと古代米の苗を手で植え、子ども達は泥だらけになりながら笑顔で作業に取り組んだ。

谷本晴美組合長は「子どもたちには、田植えを通じて農や食の大切さを学んでもらい、親子の絆や地域との交流を深めながら健やかに成長してほしい」と話した。

今回植えた米は9月下旬に収穫する予定。



（2）「年金友の会グラウンドゴルフ大会を開催」

JA鳥取西部年金友の会協議会は米子市の日野川河川敷で6月6日、第24回年金友の会グラウンドゴルフ大会を開催した。

各地区の代表68チーム（1チーム6人）が参加して日頃の練習の成果を競い合い、優勝を目指した。プレー中、ミスした仲間に「ドンマイ」と声をかけるなどフェアプレーも随所に見られた。

団体の部では淀江支所管内の淀江Aチーム、個人の部では崎津チームの岡田敏明さんが優勝し、同大会の上位12チームは7月19日に鳥取市の「白兔グラウンドゴルフ場」で行われる鳥取県大会に出場する。

